

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	原発災害により超長期に避難する住民の健康自己管理とその支援
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2012 年以降、新潟大学と浪江町が共働で開催している「浪江町健康相談会」に参加された住民の方
③概要	過去の災害から、避難生活は被災者の心身の健康に影響を及ぼすことが明らかになっており、生活再建には安定的した居住・生活環境の早期確保が重要であるといわれています。しかし、2011年に発生した東日本大震災とそれに関連した福島第一原子力発電所事故は、人類が経験したことのない未曾有の災害であり、これほど多くの方がこれほど超長期の生活再建の見通しが無いままの避難生活を余儀なくされた例はありません。そこで、私たちは、原発災害によって避難生活を送る住民及びコミュニティに対し、健康相談参加者の健康状態の変化と支援者が実施した健康支援の内容を明らかにし、超長期にわたり応急仮設住宅及び復興住宅に居住する住民の健康自己管理とその支援のあり方を検討するために研究を計画しました。
④申請番号	2015-1951
⑤研究の目的・意義	原発災害により超長期に渡り避難生活を送る住民の健康自己管理とその支援のあり方を検討することです。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2028年 3月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	健康相談会時に測定した血圧、脈拍、体重、BMI、体脂肪率、筋肉率、基礎代謝量、開眼片足立ち時間、握力及びお聞きした心の健康状態（K6 日本語版使用）や生活状況などを記載した健康相談会記録用紙を使用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	健康相談会記録用紙の内容
⑨利用の範囲	新潟大学医学部保健学科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医学部保健学科看護学専攻 助教 岩佐有華
⑪お問い合わせ先	新潟大学医学部保健学科看護学専攻 岩佐有華 電話&FAX：025-227-2373 E-mail：iwasa@clg.niigata-u.ac.jp